

STUDIO TAR PRESENTS

成人向  
FOR ADULT ONLY

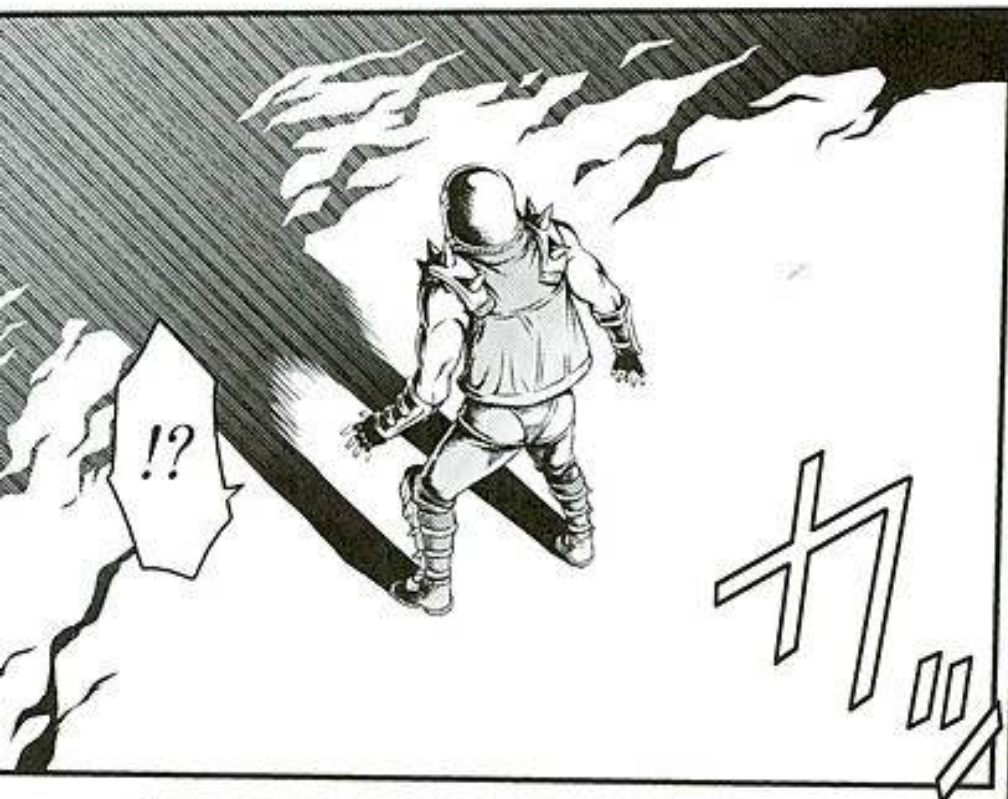


世紀末  
鐵假面

伝説

5

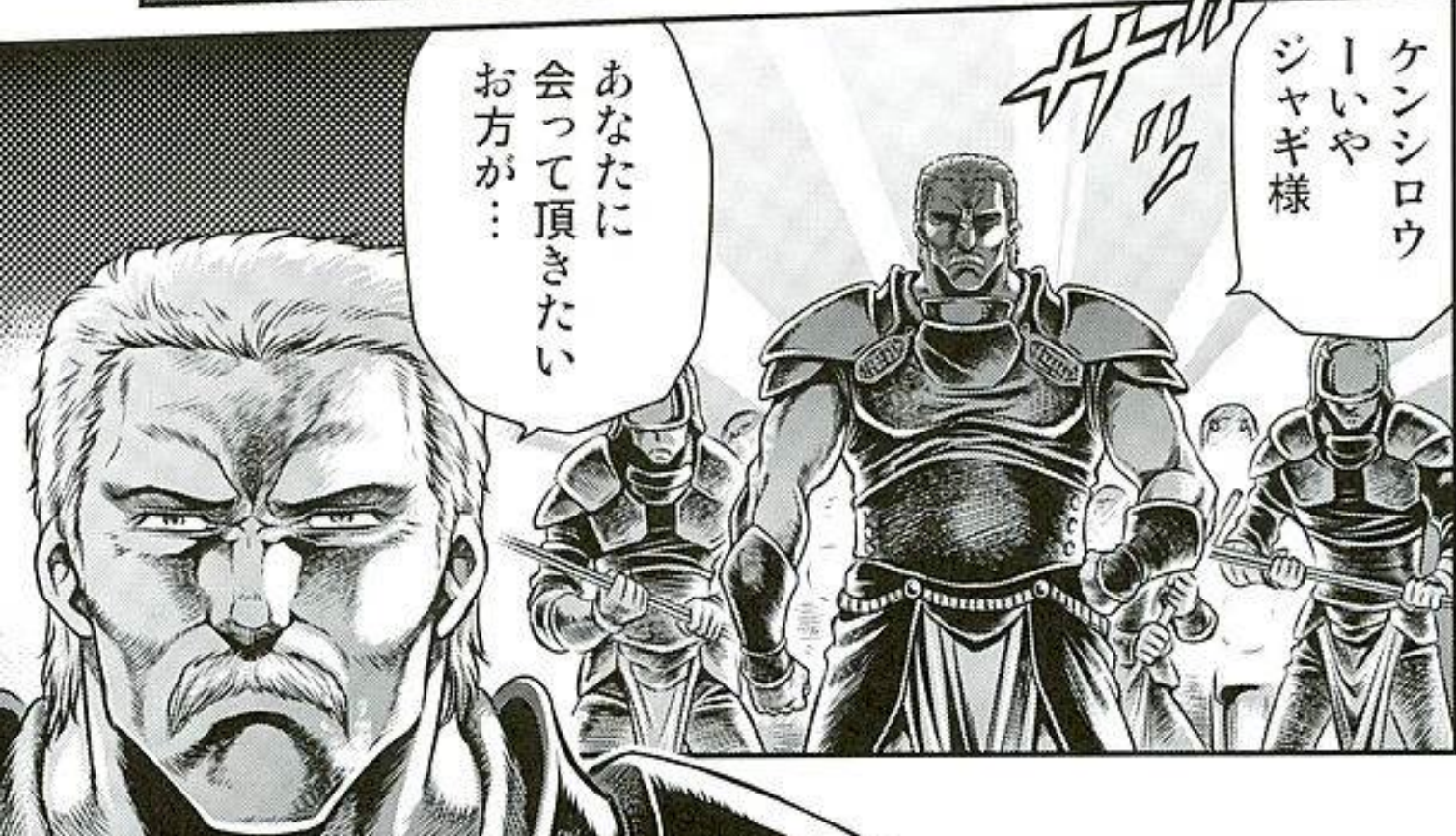




…今日は  
星がよく  
見えねえな…



ー!  
テメエは



ケンシロウ  
ーいや  
ジャギ様

あなたに  
会って頂きたい  
お方が…















!?

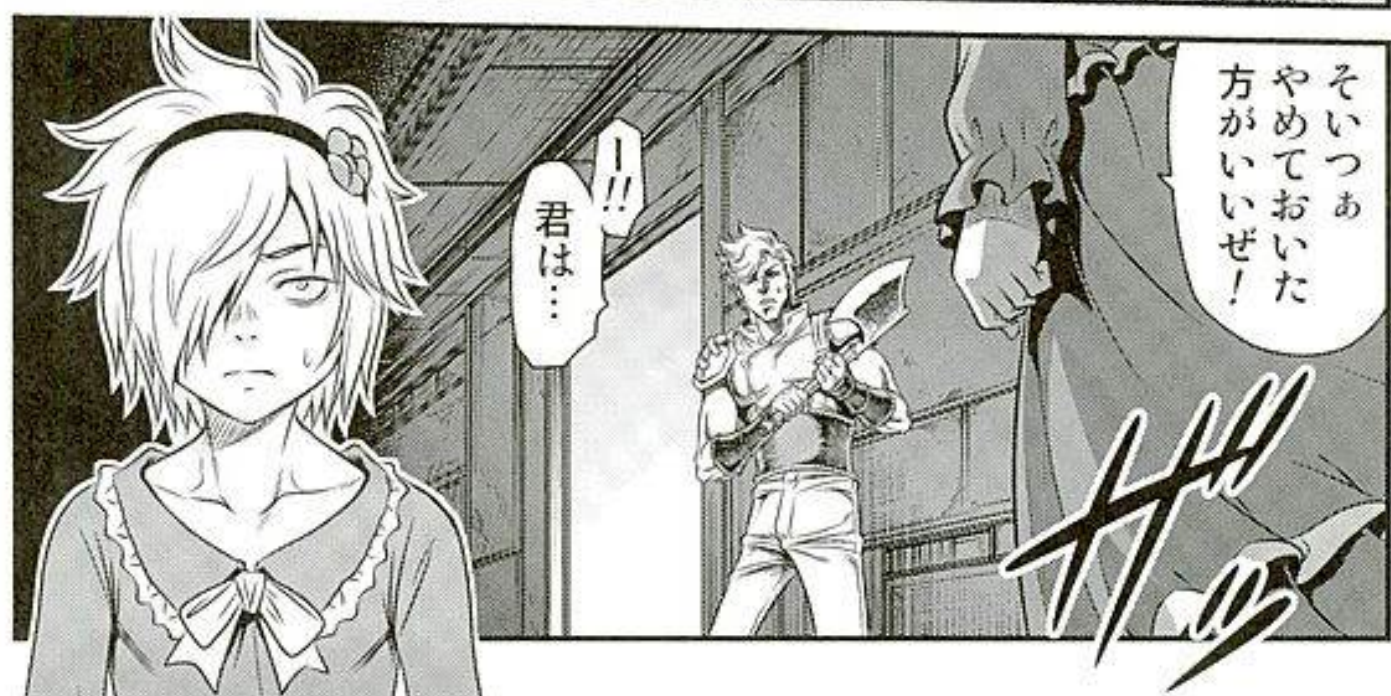
ならば  
次は  
こつちだ!!

ぽっ!!



くそっ!  
あの野郎  
俺の  
リンちゃんを!

お…俺が  
い…今すぐ  
助けて…



そいつあ  
やめておいた  
方がいいぜ!

!!  
君は…

ガッ



俺は何度も  
見て来た

あいつが  
強敵を次々と  
ユリアにして  
いくのをな…

あいつには  
敵わねえよ



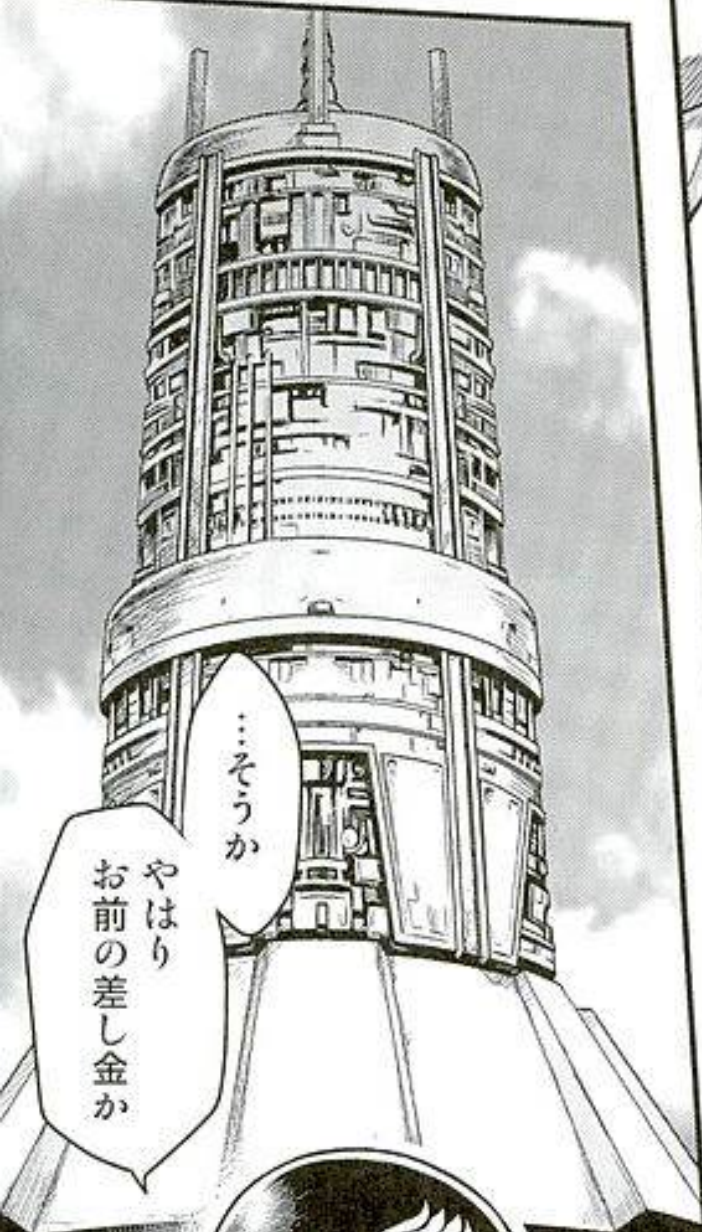
—でも  
俺達にでも  
出来る事がある

手伝ってくれ!



…そうか

やはり  
お前の差し金か





南斗<sup>ユ</sup>の嬢<sup>リ</sup>ちゃん<sup>ア</sup>

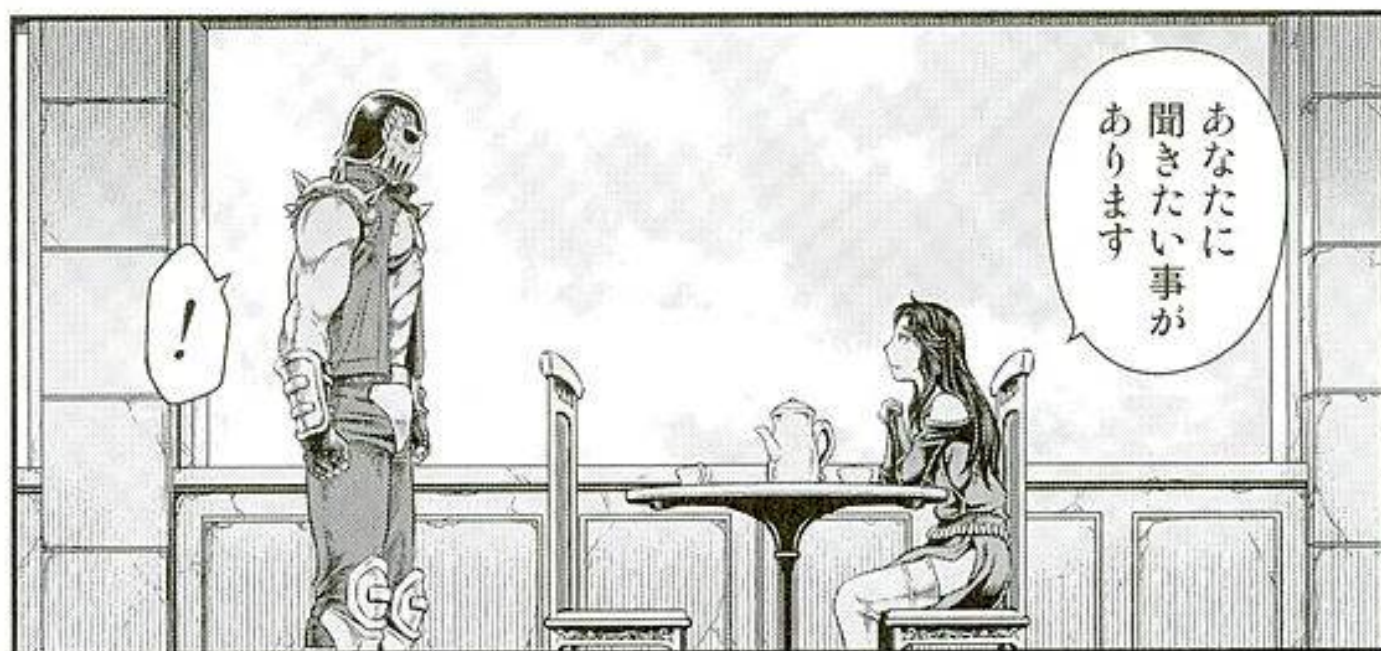
お久しぶり  
ですね  
ージャギ

立ち話も  
何なので  
お茶に  
しませんか？

どうぞ  
お掛けになって









確かに  
辛い事でした

ーでも  
今にして思えば  
あの事が無ければ  
私達はいずれ  
死んでいたでしょう

ケンも強く  
なる事も無く

私もこうして  
南斗の将としての  
役目を果たす機会  
も得られずに

こいつもまた  
南斗の宿命に…

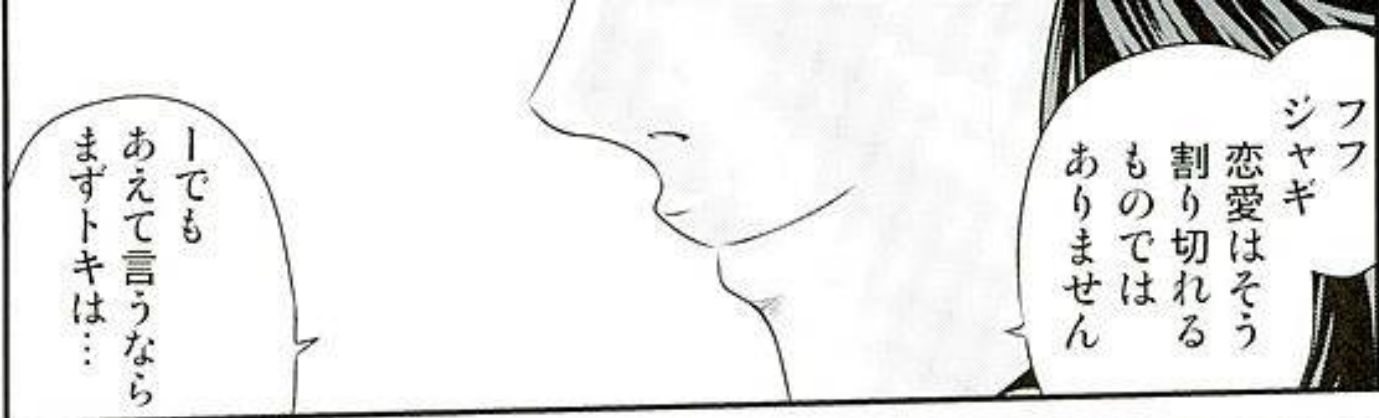
ならば最初から  
お前はケンシロウ  
以外の男を選ぶ  
べきだったな

何故  
ケンシロウ  
だった？

あの当時なら  
人格・才能共に  
備えたトキ  
強さなら  
ラオウ

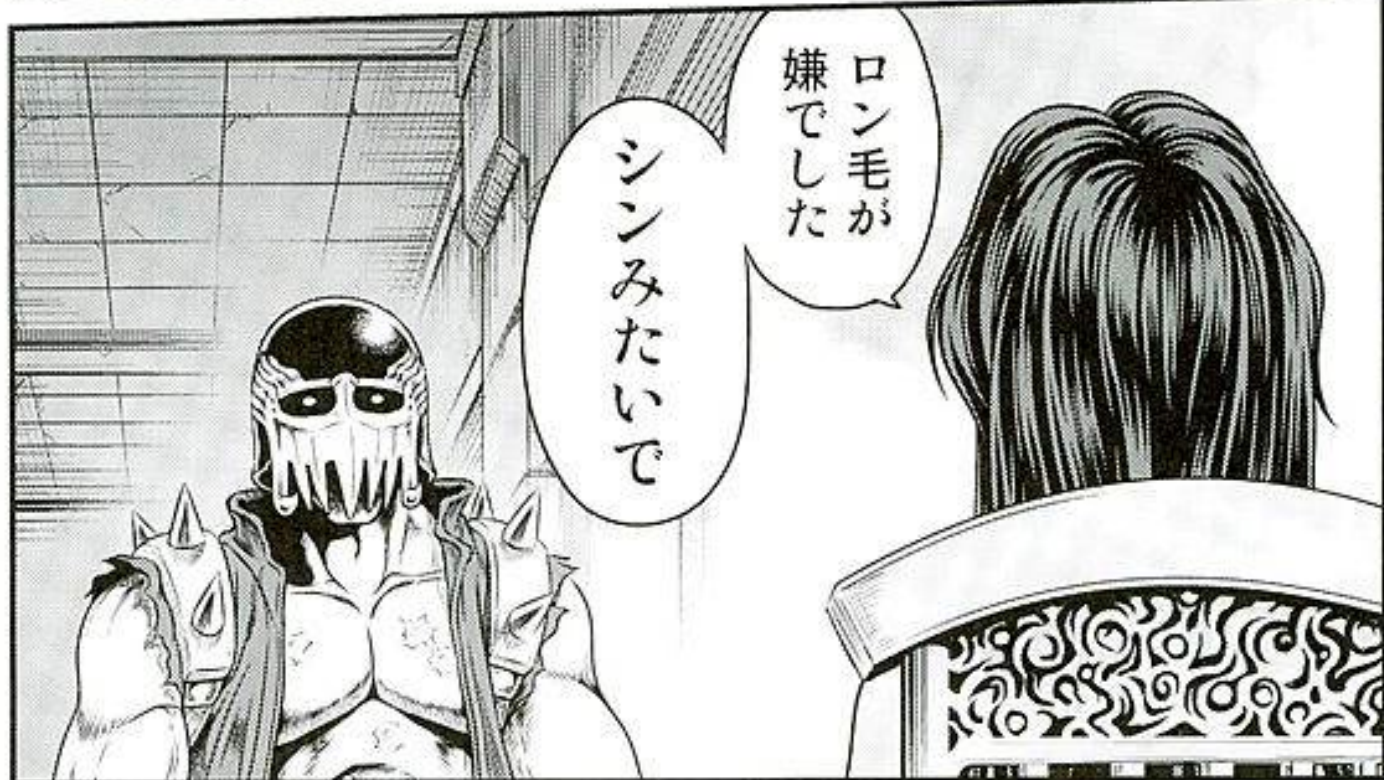
お前なら  
そのどちらの男も  
選べた筈だ！





フフ  
ジャギ  
恋愛はそう  
割り切れる  
ものでは  
ありません

ーでも  
あえて言うなら  
まずトキは…



ロン毛が  
嫌でした

シンみたいで

ラオウは  
わがまま  
でしょ？

シンみたいに

お…おう

シン お前  
何やったんだ!?

ーでも私  
ケンにだって  
嫌いなところ  
と言うか…

ほう!  
そいつは  
興味深い

ぜひ  
聞きたいね

どうしても  
受け付けない  
ところがひとつ  
ありますよ？







また出たよ!!  
シン!!!

シンと  
友達なところ



あなたの  
やりたい事は  
こんな事でしたの？

シンの事で無いなら  
俺に聞きたい事  
ってのは何だ？

ま...まあ  
それはもう  
いい

ジャギ



あなたは  
北斗神拳を学び

伝承者になって  
何がしたかったの  
ですか？

な…に？

あなたは北斗神拳に  
何を望み求めて  
いたのかしら？





どうした  
ユリア?



まだ前戯では  
ないか!

……も……

だ……め……



お前は  
まだまだ  
ユリアとして  
愛が足りぬ  
ようだな!!

一ならば



ヒュー

ヒュー

ホッ

ホッ

ホッ



あたあつ

うっ!!

ここを  
突かれし者は  
一度光と一切の  
情愛を失い

再び  
目が開いた時  
その目に映る  
者を愛する!!

あ...ああ

目が...!?

俺が  
人体実験を重ね  
解き明かした  
秘孔よ!!

さあ!  
再び目を開け  
ユリア!!


愛を取り  
戻すのだ!!!

...






このままでは  
北斗の歴史は  
お終いです



それはもはや  
この世に光さず事が  
無いに等しい  
ジャギ  
あなたはそれでも  
いいのですか？

世界のため…  
北斗のために  
ケンはずきに  
戻さなければ  
なりません



そのために  
ジャギ…

あなたの  
命が欲しい





むっ？

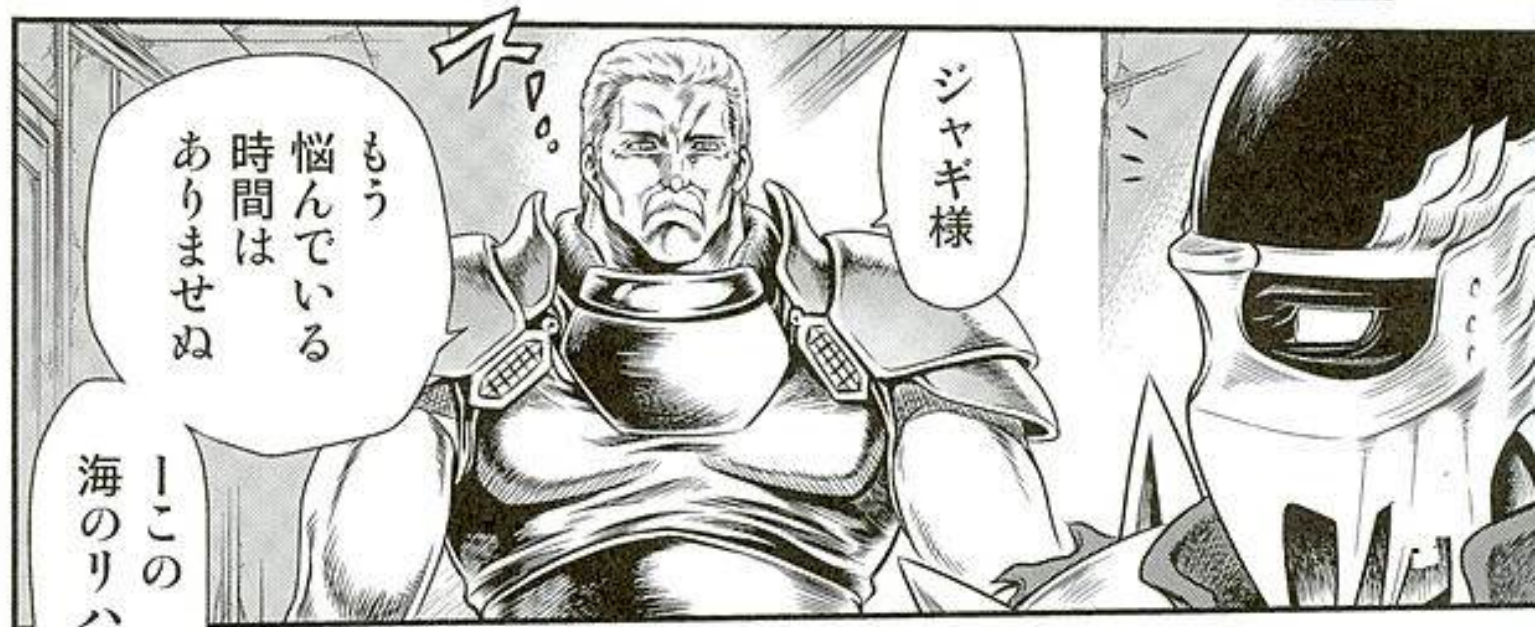
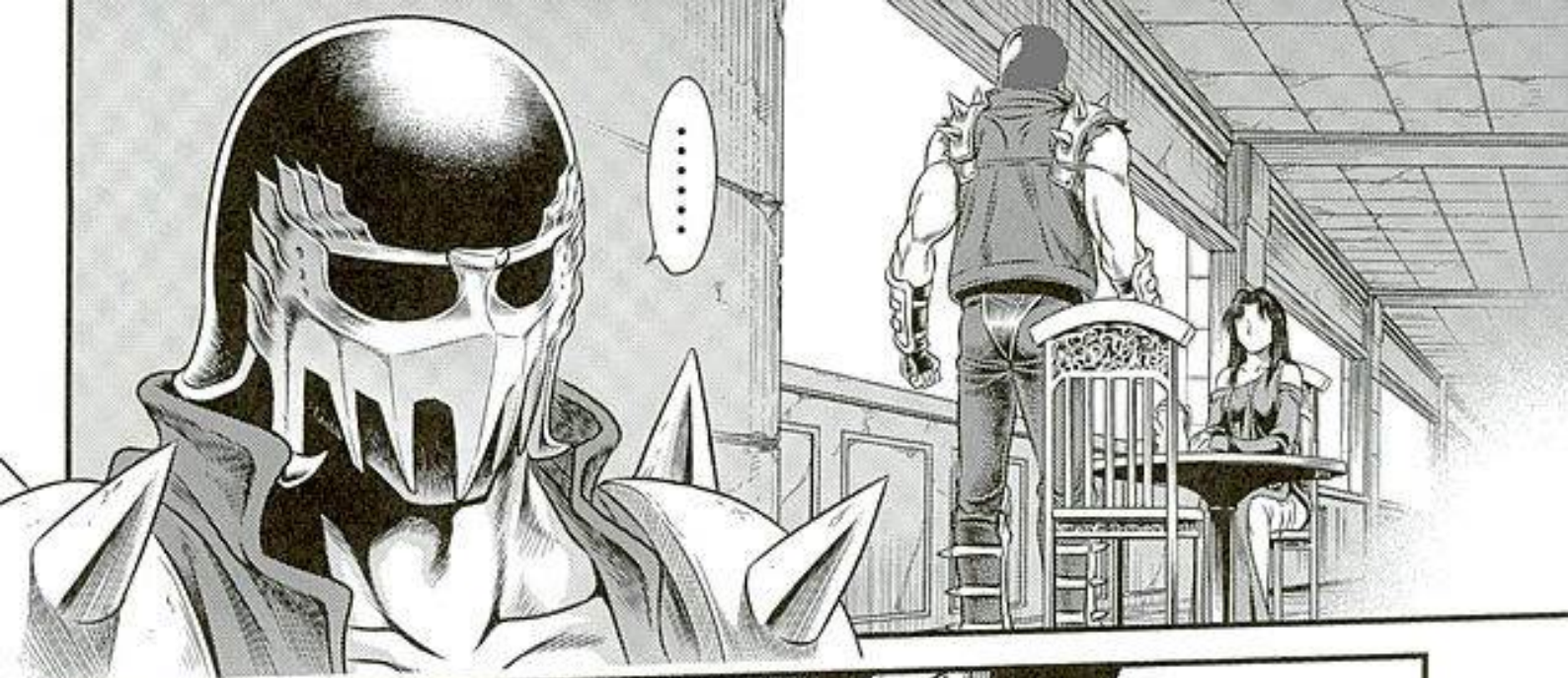
気を失った  
か…

だが  
俺の愛は  
まだ治まらぬ

やはり  
このような  
小さい生身の  
ユリアでは  
脆過ぎる！









すでに  
ケンシロウ様を  
ここに呼び寄せる  
策をほどこして  
おきました!!

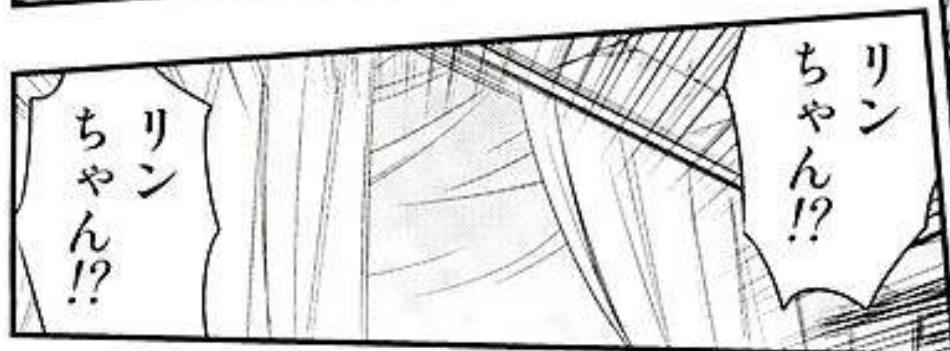
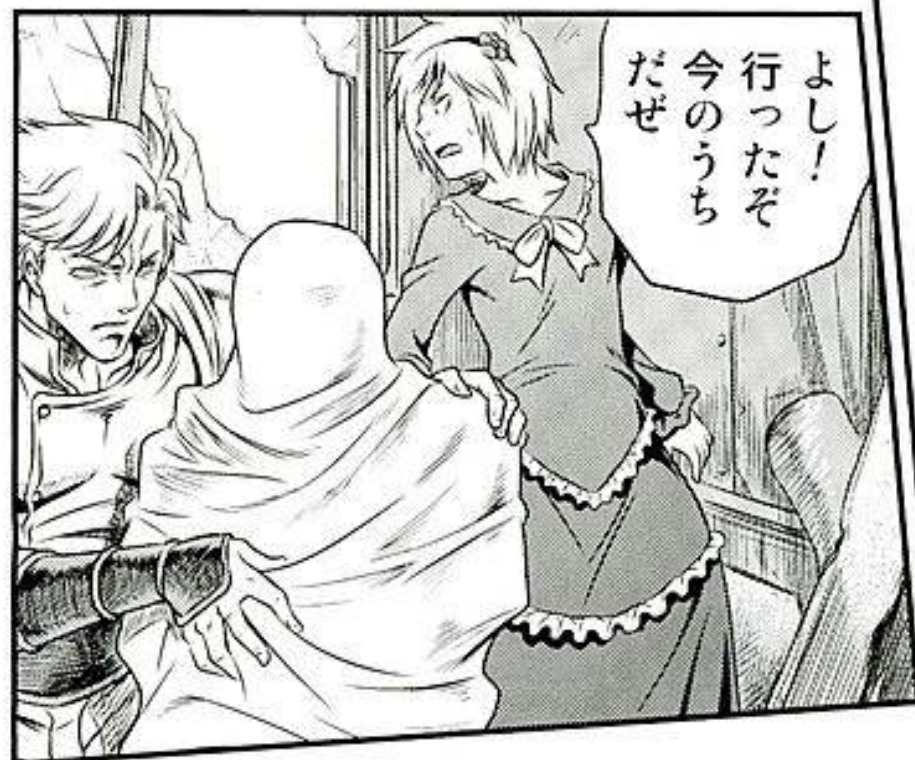
ケンシロウに告ぐ  
貴様のユリアは  
あがかった  
返してほしくは来い!  
ツギキ

ヤヤ!!  
テメエツ  
確認取ってから  
動けよ!!!





うおおおおおつ  
ジャギイ〜ツ!!







や…だ…



ちっ！  
手遅れ  
だったか

えっ!?



…あなた  
誰…？

わ…私  
どこにも  
行かない！

ズザッ！

リンちゃん!?



何かしらの  
秘孔を突かれ  
たんだぜ！  
リンは  
もう奴の虜だ

はあ

はあ

ここで私  
もっと愛して  
もらうの♡

はあ

可哀想だけど  
俺達には  
どうしようも  
出来無エよ…

ヒクッ  
ヒクッ





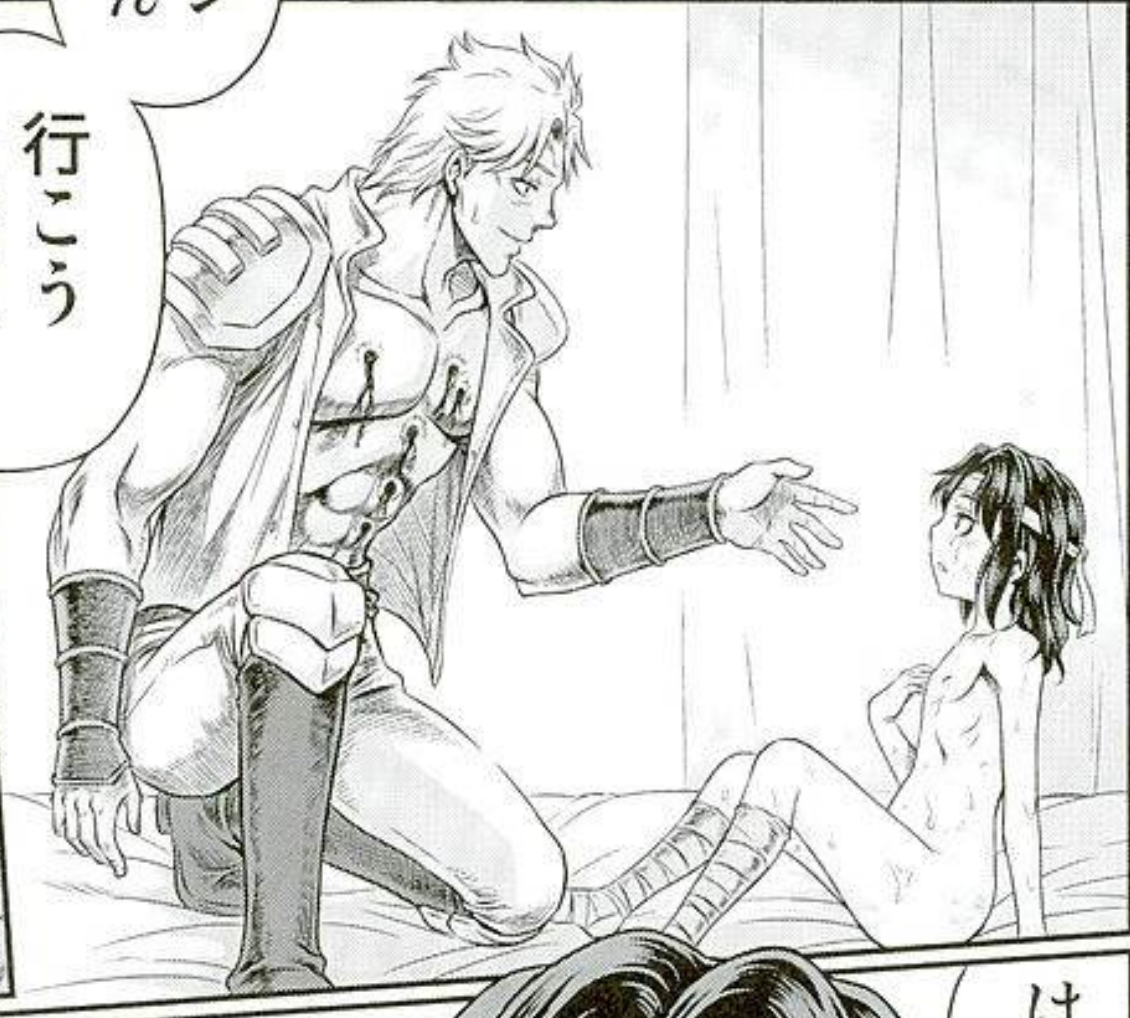




：リン  
ちゃん



行こう  
一緒に！



はい♡

七つ傷の人♡







き…  
来ました!!

ケンシロウ  
様です!!

もう  
すぐ下の階  
までッ!!

ケン…!!





あなたの命が欲しいー

ジャギ  
あなたが  
全ての元凶

あなたを倒し  
私を取り戻せば  
ケンの衝動は満たされ  
きつと正気に戻る…

あなたは  
ケンをもいでいる  
ーでもそれは  
あなたが誰よりも  
北斗神拳を  
愛していたから

歪んでしまうほど  
愛した北斗神拳ー

その北斗神拳を今  
救えるのは  
あなただけなのです

おい  
南斗の  
嬢ちゃん

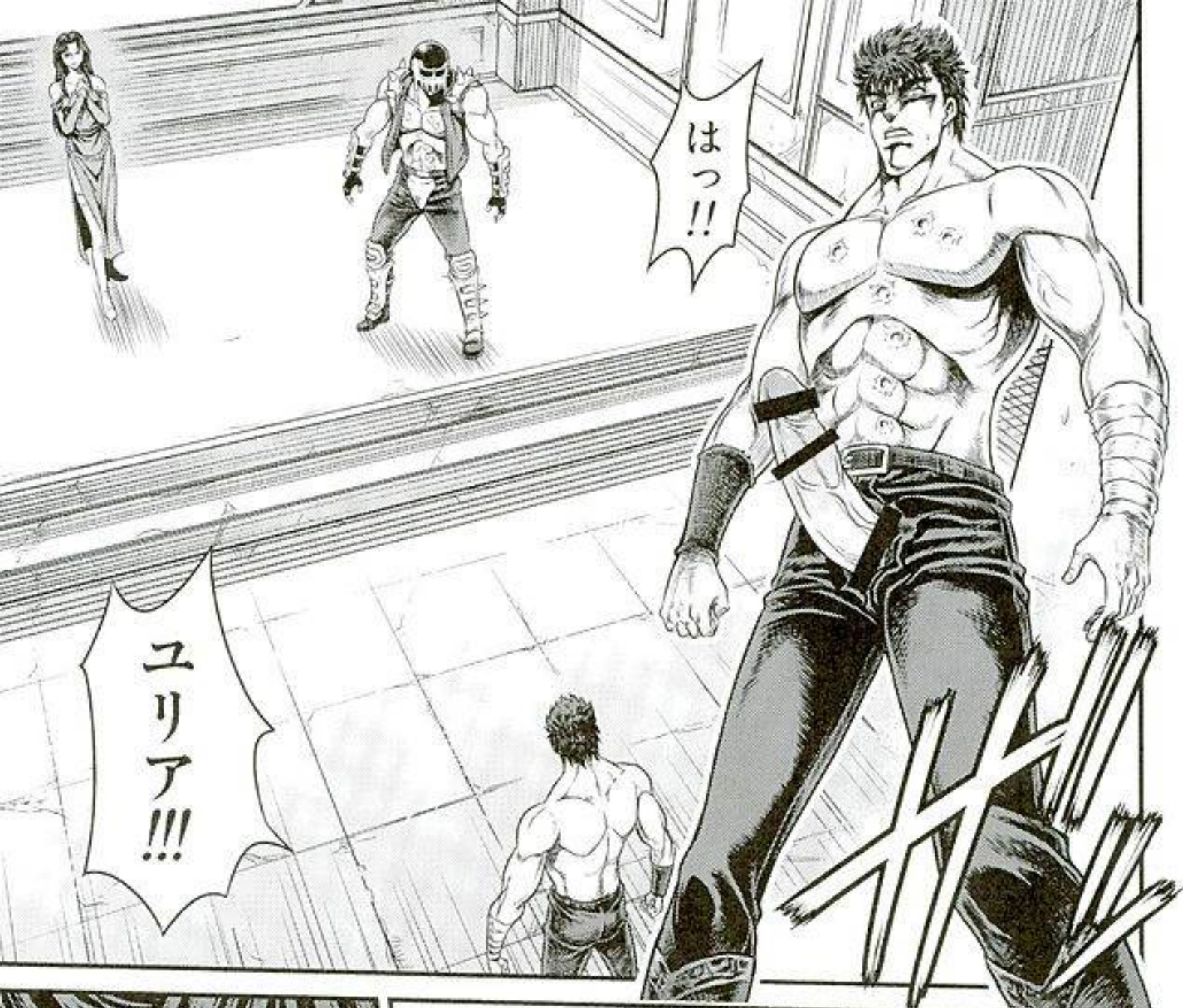
ひとつ  
言い忘れてた  
がよ

勝手な女  
だぜ…













ケンシロウ

確かに  
お前は昔より  
遥かに強く  
なった



今の  
お前には  
ラオウの兄者  
でも勝てまい



北斗最強!

この  
拳はア

その名は  
伝説となり  
語られる事  
なるだろうー



だがな



ユリアを奪われた  
この俺の怒り  
だあくツ!!





お前を  
強くしたのは  
この俺様だ!!

このジャギ様が  
北斗最強伝説を  
作ったのだあ〜!!!





あたたあ!!!



あ…  
終わったな…



げっ!!?





そして

時代は  
激しく  
動き始める



俺は  
この世で  
誰よりも  
強く…

ハキ

そして



おー

オ  
オ



俺達は  
美しい!!

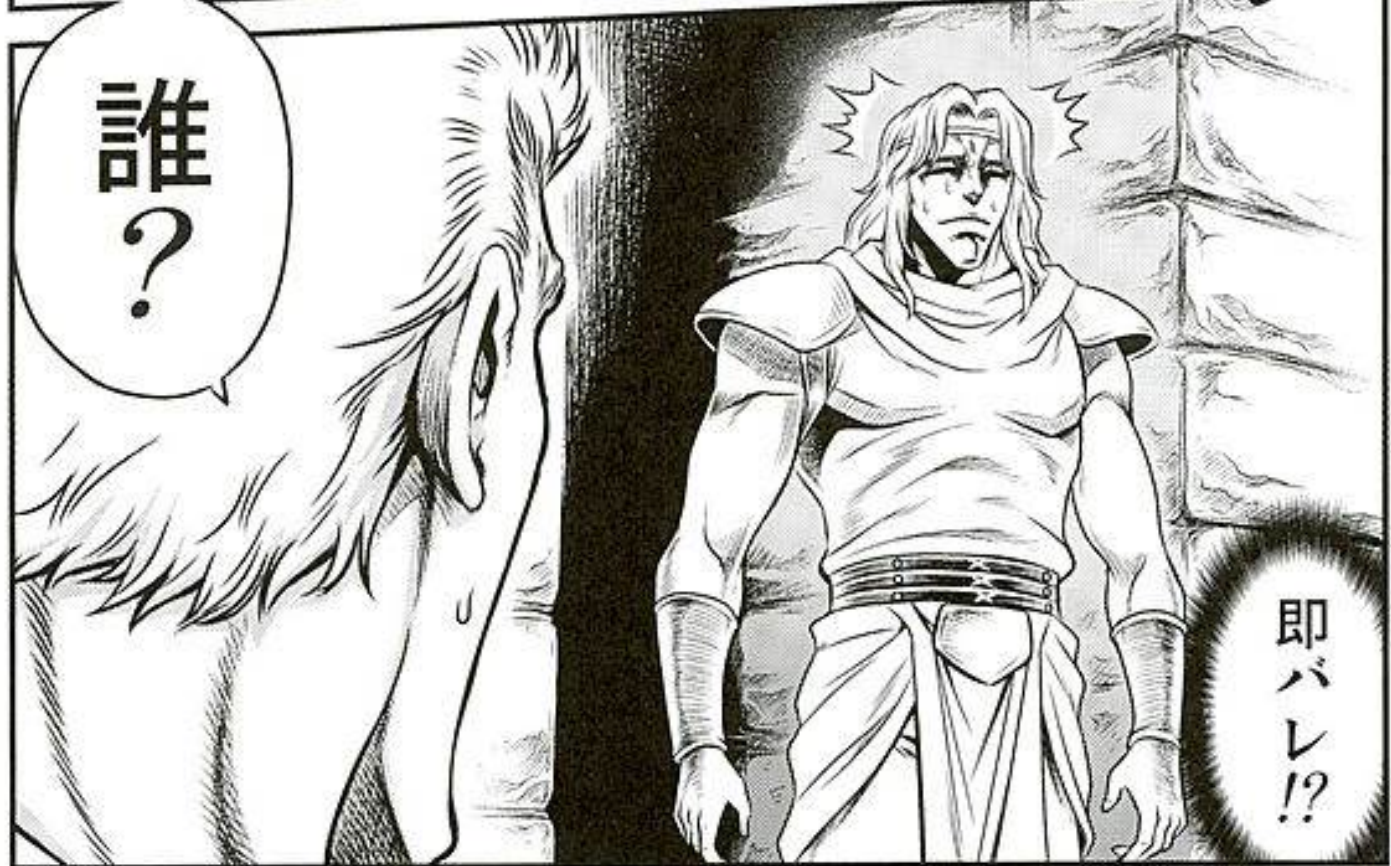
イエー





ぬう  
ぎんまは...

動くか  
ーラオウ



誰？

即バレ！?



父さん！

ラオウの  
軍勢が！！

何っ！！

ラオウを  
止めるために  
今一度  
封印を解き

ーこのフドウ



ユリア様となつて  
戦おう!!

哀しき瞳

何をしておる!?  
さつさと奴を  
射ぬかあく!!

し…しかし  
拳王様が…

そんな  
場合か!!  
早く!!

ハリー!!  
ハライ!





あ：  
あんたは

ジュウザ  
お前の  
命が欲しい



ガッヤッ



この海の  
リハクでも  
読めなかった

ーよもや



何してんの？

うん



お前のおかげで  
俺は目が覚めた

行こう  
ユリア



このような  
結末に  
なろうとは…



新たな  
伝説を作りに……!!





オ  
オ  
オ  
オ  
オ



ぐはあ!!

ドカマアッ



…違う

ス…



ぎ…

きさきは  
もしや  
ケンシー…



俺は…ユリア

俺がユリア!!

END





[http://www.d4.dion.ne.jp/~tar\\_tar/](http://www.d4.dion.ne.jp/~tar_tar/)

tar\_tar@d4.dion.ne.jp